

< 国立市基本構想 基本理念等の変遷 >

	第一期基本構想	第二期基本構想	第三期基本構想	第四期基本構想
期間	昭和 51 (1976) 年度～ 昭和 60 (1985) 年度	昭和 61 (1986) 年度～ 平成 7 (1995) 年度	平成 8 (1996) 年度～ 平成 17 (2005) 年度	平成 18 (2006) 年度～ 平成 27 (2015) 年度
基本理念	<p>構想の目的 -人間を大切にすまちづくり-</p> <p>前文</p> <p>国立市のまちづくりは、「人間を大切にする」ことを基調とする。「人間を大切にする」ことは、「社会を大切にすると同時に、自然を大切にすることである。したがって、「残された自然を保つ」ということばかりでなく、さらに、「失われた自然を取り戻す」という積極的なものでなければならない。また、人間が大切にされている証しとして、福祉社会の実現を目指して、教育が尊重されなければならない。このために、都市と市民の理想像をつぎのように設定する。</p>	<p>・まちづくりの目標 活力ある文化的都市創造をめざして</p> <p>前文</p> <p>前構想において、国立市のまちづくりは「人間を大切にする」ことを基調とする、と明記した。このことは、まちづくりのための基本的な合意として現在もお市民がひとしく共有し、今や、まちのあり方を示す理念にまで高められた。</p> <p>しかし、同時に、この理念は現実的な諸条件を無視して成立するものではない。国立市を取りまく様々な社会的環境を現実的に見つめながら、市民が求めうる人間的な夢を現実のものとする努力こそが大切である。</p> <p>新構想においては、このことを明確に認識し、活力ある文化的都市創造をめざしたまちづくりの目標を設定しなければならない。</p> <p>まず、市民と都市の理想像を設定する。そして、発展するまちづくりの大きな条件として、将来人口の規模と土地利用の方向を明らかにする。</p>	<p>はじめに</p> <p>国立市は、第一期の基本構想以来20年間、「人間を大切にする」ことをまちづくりの基本的合意とし、市民と市政のたゆまぬ努力のもとに、緑豊かな文教都市づくりをすすめてきた。第三期の基本構想においても、この理念を継承し、歴史のなかで形成された“国立らしさ”を一層豊かなものとしていくため、市政の基本を次のように確認する。</p> <p>「人間を大切にする」まち国立は、すべての市民が安心し健康で潤いのある生活を営むことのできるまちである。市政の基本的役割は、この実現へ向け、都市と生活の環境を整え、文化を育み、福祉をささえることである。市政のすべての施策はこの理念の達成にむけられなければならない。</p> <p>われわれは、第一期、第二期の基本構想のさらなる発展を期するとともに、21世紀に向かってのさまざまな変化に的確に対応して、将来の世代に誇りをもって引き継ぐことのできるまちづくりを果たすための長期的かつ総合的な指針として、計画期間を平成8年度から平成17年度とする第三期基本構想を策定する。</p>	<p>くにたちの将来像</p> <p>1. 将来像</p> <p>前文</p> <p>わたしたちは、「文教都市くにたち」を“都市像”として、教育、自然、文化、まちなみ、つながりを尊重した「人間を大切にするまち」を目指してきました。</p> <p>人がまちをつくり、人はその町に育てられていきます。一人ひとりがその自覚を持ち、これまで受け継いできたものをさらに心豊かなものにし、次の世代へつなげていかなければなりません。わたしたちくにたち市民は、平和に生き、「人間を大切にするまち」を再認識して、「文教都市くにたち」のあるべき姿を見つめ直し、育て、生活に根ざしたものにしていきたいと思います。</p> <p>このことを踏まえ、くにたちの将来像を次のように描きます。</p>

	第一期基本構想	第二期基本構想	第三期基本構想	第四期基本構想
市民像	<p>構想の目的</p> <p>人間を大切にすまちづくり</p> <p>1. 市民像</p> <p>わがまちを愛し、人間同志の連帯を深める市民</p> <p>わがまちの発展と平和のために、みずからが努力する市民</p> <p>わがまちと、日本の民主化に努め、世界の平和に役立とうとする市民</p> <p>他人の生活と意見も大切にし、差別や不正をゆるさない市民</p> <p>自然を愛し、自然に学び自然とともに発展する市民</p>	<p>・まちづくりの目標</p> <p>活力ある文化的都市創造をめざして</p> <p>1. 市民像</p> <p>まちづくりの主体は市民一人ひとりである。したがって、国立市民としての自覚と協調のなかにあすの国立はある。このことをふまえ、市民像を次のように設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を愛し、自然に学び、自然とともにある市民 ・ まちを愛し、豊かな文化と活力あるまちの発展に努力する市民 ・ 人間を愛し、広く社会の平和を求め、互いの生活を尊重する市民 	<p>・まちづくりの目標</p> <p>1. 市民像</p> <p>まちづくりの主体は市民一人ひとりである。国立市民としての自覚と協調のなか、あすの国立はある。このことをふまえ、市民像を次のように設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を愛し、自然に学び、自然とともに生きる市民 ・ まちを愛し、まちと文化を創造し、まちとともにあゆむ市民 ・ 人間を愛し、広く社会の平和を求め、ともに認めあいささえあう市民 	<p>くにたちの将来像</p> <p>1. 将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人びとのつながりを大切に、互いを認めあい、ともに暮らしています 言葉を交わし、あいさつを通じて出会いが生まれ、さらに人びとのつながりがひろがっていきます。そこには互いを認めあい、支えあう想いもあります。くにたちに関わる全ての人びとの自覚と意識と協調が、くにたちをつくっていきます。 ● 子どもたちが遊び、お年寄りがまちで暮らす風景があります 子どもたちが、まちかどや路地で楽しそうに遊び、そのそばで立ち話をしている人たちがいます。高齢者もしょうがいしゃも安心して快適に暮らしています。人びとは行き交い、お店や通りは活気にあふれ、みんな楽しく過ごしています。 ● 季節の風を感じ、豊かな文化とのかかわりがあります 人びとは、四季折々の彩りを楽しみながら心豊かに暮らしています。さまざまな生きものの暮らしも大切にされています。そこには音楽があり、絵画があり、人びとの語らいがあり、文化や歴史が息づいています。 <p>(事務局注釈)第四期基本構想における「将来像」は、従来の市民像、都市像とまちづくりの目標を包含する内容となっていますが、ここでは便宜的に市民像の欄に記載しました。</p>

	第一期基本構想	第二期基本構想	第三期基本構想	第四期基本構想
都市像	<p>構想の目的 -人間を大切にするまちづくり-</p> <p>2. 都市像</p>	<p>。まちづくりの目標 活力ある文化的都市創造をめざして</p> <p>2. 都市像</p>	<p>。まちづくりの目標</p> <p>2. 都市像</p>	<p>くにたちの将来像</p> <p>1. 将来像</p>
	<p>まちづくりの伝統をふまえ、都市像を「文教都市くにたち」とする。</p>	<p>都市像を「文教都市くにたち」とする。 この都市像は、市民および市政が、自然と人間の限りない調和を求め、安全・快適・健康な市民生活を確保するとともに、国立にふさわしい教育と文化を創造することのなかに実現する。 また、ここで、都市像「文教都市くにたち」を支える言葉として、“緑と文化とふれあい”（Green-Culture-Community）を提唱する。</p>	<p>都市像を「文教都市くにたち」とし、これをささえる言葉として“緑と文化とふれあい”（Green-Culture-Community）を設定する。 この都市像は、市民および市政が地域ではぐくまれてきた文化との調和や自然との限りない共生を求め、安全・快適・健康な市民生活を確保するとともに、国立にふさわしい教育と文化を創造することにより実現される。</p>	<p>《前文より再掲》 わたしたちくにたち市民は、平和に生き、「人間を大切にするまち」を再認識して、「文教都市くにたち」のあるべき姿を見つめ直し、育て、生活に根ざしたものにしていきます。 （以下略）</p>

太字等は事務局による